

令和2年度 第4回 富谷市総合計画審議会 会議録

日 時：令和3年1月28日（木） 14時00分～15時00分

場 所：富谷市役所3階305会議室

参加者：富谷市総合計画審議会 出席委員9名

富谷市長、副市長、教育長、企画部長、総務部長、市民生活部長、保健福祉部長、
経済産業部長、建設部長、教育次長、教育部長、事務局3名

1 開会（司会：企画部長）

2 市長挨拶（若生市長）

本日はお忙しい中、令和2年度第4回富谷市総合計画審議会へご出席いただき、ありがとうございます。また日頃よりそれぞれの立場から当市にご指導・ご支援・ご協力いただき感謝申し上げます。昨年からの猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症においては、いまだ収束の兆しが見えない状況であり、国においては2度目の緊急事態宣言が発出されたところです。富谷市では、今後のワクチン接種の対応をスムーズに行うために、1月6日に特別対策チームを設立いたしました。また、本日午前中には、県の市長会・町村会で、早期に適切なワクチン接種を行えるよう、県の積極的な事業推進や情報共有の徹底、ワクチン供給体制の確立、医療機関等との連携などを要望してきました。

本日の総合計画審議会では、第2期の地方創生総合戦略をご審議いただくこととなります。これまで富谷市では、国の交付金を活用して、起業・創業の拠点となる富谷市まちづくり産業交流プラザの整備を始め、スイーツを通じたまちづくりや歴史・文化を生かした富谷宿観光交流ステーションの整備など、「100年間ひとが増え続けるまち」実現のため、様々な取組を行ってきました。引き続き、富谷市が発展を続けていくためにも、皆様の忌憚のないご意見を賜ればと思います。本日は宜しくお願いいたします。

3 会長挨拶

※風見会長が所用により欠席のため割愛

4 議事

※富谷市総合計画審議会条例に基づき、佐々木秀之委員が会長の職務代理として進行を務める。

(1) 富谷市地方創生総合戦略・人口ビジョン（案）について

（資料1に基づき事務局から説明）

（佐々木委員）

ありがとうございました。委員の皆様から、それぞれの視点でご意見をいただければと思いますが、いかがでしょうか。

(草野委員)

スイスやフランスには、富谷市と同規模の人口を持ったまちが多くあり、既に200～300年続く持続した都市となっています。現在の日本においては、まちを創っていくよりも、開発によって作られたまちに住むことが大半になっていますが、ヨーロッパのような持続している都市においては「何をメインにまちづくりを行っていくか」を重視し、ワークショップ等を行いながら長い時間をかけて決めていくようです。富谷市においても、これから何をメインにまちづくりを行っていくかを時間をかけて考えていく必要があると感じています。

また、個人的に基本目標3・4は十分に組み合わせていると思いますが、基本目標1・2はまだ弱いと感じておりますので、長期的な視点で施策を考えていただければと思います。

(佐々木委員)

草野委員の意見のとおり、メインとなる軸を決めてまちづくりを行うという視点は、とても重要になると思います。また、基本目標1・2についても、次の計画・戦略においては、さらなるアップデートが必要となってくると思います。

(石井委員)

これまで審議会でも話になっていた「田園都市」のような、自然環境と住環境が融合したまちが富谷市の大きな特徴でもありますので、基本目標2などへ盛り込むことは如何でしょうか。

(佐々木委員)

只今の石井委員の意見は、先ほどの草野委員の意見にもつながってくると思いますが、事務局ではどのようにお考えでしょうか。

(事務局)

田園都市につきましては、これからの富谷のまちづくりには重要な視点と考えておりますが、後期基本計画及び総合戦略は、既にある基本構想をもとにしておりますので、次の総合計画策定時に新たな視点として取り入れていきたいと考えております。なお、取り組めることはすぐに取り組むなど、柔軟に対応していくつもりでございます。

(佐々木委員)

現在は、コロナの影響など、さまざまな変化への対応が求められてくると思いますので、次の総合計画策定に向けて早い段階から動いていただければと思います。

(富田委員)

計画の企画・実行にあたっての視点にある「ウィズコロナ」の視点ですが、どこにその視点が入っているのかが分からないので、もう少し具体的に入れていただければと思います。また、数値目標における「満足度」について、それぞれの目標値が高いのか低いのが分からないので、もう少し分かりやすい目標値がないものかなと感じております。

(佐々木委員)

ウィズコロナや満足度について、事務局として視点や具体的なことがあればお答え願います。

(事務局)

ウィズコロナの視点につきましては、すべての施策に共通する概念と考えております。具体的なものとしては、基本目標1の具体的な施策③(資料2)などでウィズコロナに備えた環境整備を盛り込んでおります。また、満足度につきましては、どうしても満足度に代わる指標がなかったため、満足度を高めていくという観点で目標値を設定しました。

(佐々木委員)

ウィズコロナの視点については、刻一刻と変わっていく状況の中で、すべての施策において考えていくということですので、とても心強いことだと思います。

また、満足度については、指標がない総合計画を作っている自治体もあります。そのような自治体では、基本目標に横断的なものを設けるなど様々な尺度がありますので、そのような尺度を含めて、次の総合計画策定時には十分検討していければいいのかなと思います。なお、前期計画策定時には無かったSDGsなどの新たな視点については、何かを達成できたからSDGsを達成できるというようなものではないので、新たな視点については広く考えていくことが求められているのかもしれない。

(小澤委員)

資料1の人口将来展望として、合計特殊出生率をそれぞれ設定しているようですが、根拠となるものがあれば教えていただけないでしょうか。

また、意見となりますが、コロナ禍において、さまざまなことが変わりました。ICT教育は、もともと国が進めていた事業でしたが、市が一層進めていただいたことで、現場の環境は劇的に変わりました。これからは現場の教員がICTを使いこなせるよう努めなければと感じているところです。富谷の大きな特色でもあるユネスコスクール活動では、ウィズコロナを含め、今後を見据えた教育を考えていかなければいけないと考えております。

(佐々木委員)

学校教育については、大学においても、生徒のみならず教員も大変な時期を迎えておりますが、この時期を乗り越えられると大幅に前進するのではないかと思います。出生

率については、事務局でお答え願います。

(事務局)

資料3の38ページに記載のように、宮城県が既に設定している出生率に倣いまして、本市の出生率も設定しております。

(佐々木委員)

これまでは東京への人口集中が続いていたわけですが、昨今のコロナ禍により、逆に東京から戻ってくることも想定されています。これからも、この度の新型コロナウイルス感染症のように、何が起こるかわからない状況ですので、しっかりとしたまちづくりを行っていくことが大切だなと感じています。

(増田委員)

「子どもにやさしいということは誰にでもやさしい」という考え方は、本当にその通りだと思いますので、その観点からさらに、「子育てをしている人にやさしい」ことを大切にしてほしいと思います。子育て経験のある方は、地域の子育て活動においても、子育てのノウハウを始め、多くのことを教えることができますし、ひいてはご自身の健康寿命の増進にもつながってくるものと考えております。先日、大学生から「自分がしっかりした親になれるか不安」と話していましたので、そのような若者でも安心して子育てができる環境を整えることが必要ではないかなと思いました。

また、基本目標1にある「プレミアムスクール」の取組は、富谷市の誇りや歴史への興味、さらには富谷を大事にしていこうという気持ちも育まれ、とても良いことだと思いますので、より深掘りしていただければと思います。

(佐々木委員)

私も「子どもにやさしいまち」という視点が重要であると思いますので、次期計画策定時には、ぜひ富谷市の強みとして盛り込んでいただければと思います。また、「プレミアムスクール」についても、協働教育の大人版として富谷のシビックプライドを育ていければと思っております。

(加藤委員)

基本目標2にある「とみやど」については、成功してほしいと思っておりますし、我々も全力で支援させていただきたいと思っております。その「とみやど」のKPIとなっている来場者数10万人について、設定根拠を教えてくださいたいと思います。また、空き家利活用促進事業を活用した売買等件数でKPIが10件となっておりますが、富谷市の現在の空き家数がどれくらいなのかも教えてくださいたいと思います。なお、空き家については、空き家になる前に地域住民の方と協力するなど、空き家となることを未然に防ぐ取組も必要だと思います。

(佐々木委員)

「とみやど」オープンに対する期待というのは、大きいものがあると思いますが、全力で支援していただけるというお言葉もあり、大変心強いと思います。各KPIの設定根拠については、事務局でお答え願います。

(事務局)

とみやどの来場者数の設定については、年4回程度の大きなイベントや毎週末の小さなイベント、富谷塾生が開催するイベント等を通して、年間10万人のKPIを達成していきたいと考えています。また、富谷市の現時点での空き家数については、70件と把握しております。

(佐々木委員)

空き家の利活用については、これからも金融との連携は必要になってくるかと思うので、より密に取り組んでいければいいのではないかと感じました。

(平岡委員)

とみやどのKPIについては、個人的に高めの目標設定と感じておりますが、この目標達成に向けて様々な事業や広報において工夫が必要だと思いますし、私たちも協力していきたいと思っております。

(佐々木委員)

高いKPIを設定すると達成できないのではないかと心配されての意見だったと思いますが、やはり高い目標値に対しては、各方面と協力して取り組んでいくことが必要になってくると思いますので、柔軟な体制づくりもしっかり行ってほしいと思います。

(小松委員)

農業の面では、去年は収入が減ってしまったり、失業したことで新たに農業を始める方が出たりと、コロナの影響がとても大きい1年でした。今後もコロナの影響がどのように農業に影響してくるのか、とても心配しているところです。

(佐々木委員)

先ほど出てきた「田園都市」の考えとして、農業は切り離せないものですので、今後は、農業が一層生きるような施策を考えていければいいのではないかと思います。

(佐々木委員)

本日は短時間での会議にもかかわらず、それぞれの視点に立ったご意見をいただきまして、ありがとうございます。事務局においても、時代の大きな変化も捉えて作りこんでいただき、ありがとうございます。

議事は終了しましたので、進行は事務局にお返しします。

(進行：企画部長)

委員の皆様、ありがとうございました。本日皆様から頂いた意見をもとに、今後総合戦略の策定に向けて進めていきたいと思えます。また、前回会議後、皆様から頂きました後期基本計画（案）に対する意見についても、3月の策定に向けて最終調整を行っております。なお、今回をもちまして、今年度の富谷市総合計画審議会を終了とさせていただきます。皆さまから、多大なるご指導・ご支援をいただき、ありがとうございました。

最後に、西村副市長より閉会の挨拶を申し上げます。

（西村副市長）

委員の皆様、ご意見をいただき、ありがとうございました。すでにある基本構想を変更して田園都市を盛り込むことはできませんが、重要な視点ですので、今の内から次期計画策定を見据えて取り組む必要があると思っております。また、コロナの視点については取り入れておりましたが、もう少し具体的に明記できるよう検討したいと思えます。ほかにも皆様から頂いた意見について、取り組めるよう最終調整していきたいと思えます。本日は、ありがとうございました。

（事務局）

副市長、ありがとうございました。

以上をもちまして、本日の会議は終了となります。お忙しい中、ありがとうございました。

以上